



船橋市地域福祉計画

コミュニケーション^{シティ}船橋の創出をめざして



船 橋 市

表紙の説明

すべての世代が登場する表紙は、「子どもからお年寄りまで、すべての市民が担い手であり受け手でもある」という地域福祉の理念を表しています。

また、三つ葉のクローバーとハートをデザインしたシンボルマークは、地域福祉の推進に必要な4つの力の融合を表現しており、計画に記載した「地域に住む一人ひとりが努力していくこと（自助）」「地域が力を合わせて実現していくこと（共助）」「行政の責任として推進していくこと（公助）」に市民一人ひとりの暖かなハートが加わることによって、「幸せ」のシンボルである四つ葉のクローバーにしていきたいという願いが込められています。

はじめに



少子・高齢化や核家族化が急速に進み、人々の価値観も多様化している中で、地域で孤立してしまっている方、子育ての悩みを一人で抱えている方、リタイア後の生きがいを見つけない方など、様々な福祉ニーズが新たに生まれており、質・量ともにこれまで以上の福祉サービスが求められています。

こうした状況を踏まえて「市民の誰もが生き生きと自分らしく安心して暮らし続けることのできる船橋」を創出するため、地域と行政の役割分担のあり方や、「市民」「地域」「行政」のそれぞれが取り組んでいくべき施策を掲げた船橋市地域福祉計画を策定いたしました。

地域福祉の推進には、市民一人ひとりに「自らの暮らす地域をより良く」という気持ちを持って積極的に地域へ参加していただくことが何よりも重要であると考え、計画づくりの最初の段階から市民と学識経験者による策定委員会で内容を検討していただきました。

さらに、地区懇談会などに多くの市民の参加をいただく中で、行政の果たすべき役割（公助）と市民や地域に期待される役割（自助・共助）が、市民自らの手によって明記された、まさしく「市民との協働」の計画となっております。

「地域と行政が協力・連携しながら様々な地域の課題に対応していく」そんな新しい時代の仕組みを創り出し、市の目標である「生き生きとしたふれあいの都市」を目指してまちづくりに取り組んでまいりますので、市民の皆様のご協力をお願い申し上げます。

おわりに、計画の策定にあたりまして多大なるご尽力を賜りました策定委員会の委員の皆様をはじめ、アンケート調査やヒアリング調査、地区懇談会等において貴重なご意見をいただきました多くの皆様に心より感謝申し上げます。

平成17年3月

船橋市長 藤代孝七

| | | |
|--------------|--|-----------|
| 第 1 章 | 計 画 の 概 要 | 1 |
| | 1 「地域福祉」ってなに? | 2 |
| | 2 なぜ、いま、地域福祉なのか | 4 |
| | 3 目標と理念 | 6 |
| | 4 地域福祉の役割分担と「共助社会」の構築 | 8 |
| | 1. 地域福祉の役割分担 | 8 |
| | 2. 共助社会の構築 | 9 |
| | 5 地域の役割・行政の役割 | 10 |
| | 6 地域福祉計画の位置づけ | 12 |
| | 7 計画の期間 | 12 |
| | 8 地域福祉計画の特徴と住民参加の手法 | 13 |
| | 1. 市民主導の策定委員会の設置 | 13 |
| | 2. 地域福祉研修会の実施 | 14 |
| | 3. 地区懇談会の開催 | 14 |
| | 4. その他の住民参加の取り組み | 14 |
| | 9 他の計画との整合 | 15 |
| | 1. 千葉県地域福祉支援計画との整合 | 15 |
| | 2. 船橋市総合計画との整合 | 16 |
| | 3. 個別計画との整合 | 17 |
| | 4. 地域福祉活動計画との整合 | 17 |
| 第 2 章 | 社 会 の 変 化 と 船 橋 | 19 |
| | 1 これから予測される社会の変化 | 20 |
| | コラム 1 深刻化する環境問題と京都議定書 | 21 |
| | 2 グローバル化のもたらすものは? | 22 |
| | コラム 2 増加の一途をたどる自殺の抑制 | 23 |
| | コラム 3 地域通貨ってなに? | 23 |
| | 3 船橋市の将来予測 | 24 |
| | 4 船橋市のコミュニティ | 26 |
| | 5 21世紀型社会へ転換するために | 28 |
| | 6 地域福祉の推進に求められる社会的変革 | 30 |
| | 1. 受験のための教育の改革 | 30 |
| | 2. 労働時間の短縮 | 31 |
| | 3. 寄付文化の創造 | 32 |

| | | |
|------------|--|-----------|
| 第3章 | 地域福祉の推進 | 33 |
| 1 | 地域福祉推進のための最大の課題は？ | 34 |
| | コラム4 身近に潜む「孤独死」の課題 | 35 |
| 2 | 地域福祉の5原則 | 36 |
| 3 | 計画のメインテーマ | 38 |
| 4 | 地域福祉推進のための仕組みづくり | 39 |
| | 1. わかりやすい行政施策の展開 | 40 |
| | 2. 保健福祉地区の設定 | 40 |
| | 3. 評価システムの普及・創出 | 40 |
| | 4. 地域と行政の連携による相談体制の構築 | 41 |
| | 5. 生涯にわたる福祉教育の充実 | 41 |
| 5 | 計画の4本柱 | 42 |
| 6 | 船橋市地域福祉計画体系図 | 47 |
| 第4章 | 心をつなぐ地域づくり | 49 |
| 1 | 人と人がふれあう環境の創造 | 50 |
| | 1. 福祉に対する意識の変革 | 50 |
| | 2. ボランティア意識の啓発 | 52 |
| | 3. 家庭・学校・社会教育での福祉活動の充実 | 54 |
| 2 | 心をつなぐ仕組みづくり | 56 |
| | 1. 出会いの仕組みづくり | 56 |
| | 2. 地域情報の発信・交換 | 58 |
| | 3. 地域通貨の導入検討 | 60 |
| 3 | 地域交流事業の促進 | 62 |
| | 1. 世代間交流の活性化 | 62 |
| | 2. 立場を超えた交流の活性化 | 64 |
| | 3. 地域交流イベントの支援 | 66 |
| | コラム5 市民アンケートの結果 ～心をつなぐ地域づくり編～ | 68 |
| 第5章 | 楽しく暮らせる地域づくり | 69 |
| 1 | 生きがいの創造 | 70 |
| | 1. 生涯学習の推進 | 70 |
| | 2. サークル活動の支援 | 72 |
| | 3. 起業・就業の支援 | 74 |
| | 4. 動物と共生できるまちづくり | 76 |
| 2 | 健康づくり | 78 |
| | 健康日本21への取り組み | 78 |
| 3 | 移動の自由の確保 | 80 |
| | 1. ユニバーサルデザインによるまちづくり | 80 |
| | 2. 移動手段の確保 | 82 |
| | コラム6 市民アンケートの結果 ～楽しく暮らせる地域づくり編～ | 84 |

| | | |
|------------|---|------------|
| 第6章 | 安心して暮らせる地域づくり | 85 |
| | 1 必要なサービスの確保 | 86 |
| | 1. 社会福祉協議会と地区社会福祉協議会の充実・強化 | 86 |
| | 2. 市民活動・組織の活性化 | 90 |
| | 3. 優良な事業者の育成 | 92 |
| | 4. 地域医療体制の充実 | 94 |
| | 5. 防災・防犯体制の充実 | 96 |
| | 6. ホームレス対策の検討 | 98 |
| | 7. 福祉の個別計画の推進 | 100 |
| | 2 既存組織のネットワーク化 | 102 |
| | 1. 連携・協力体制の確立 | 102 |
| | 2. 保健と福祉の総合相談窓口の整備 | 104 |
| | 3 サービス受給者の人権擁護 | 106 |
| | 1. プライバシーの確保 | 106 |
| | 2. 権利擁護の推進と見守り体制の充実 | 108 |
| | コラム7 市民アンケートの結果 ～安心して暮らせる地域づくり編～ | 110 |
| 第7章 | 推進体制の整備 | 111 |
| | 1 地域資源の活用 | 112 |
| | 2 男女共同参画による地域づくり | 118 |
| | 3 評価システムの普及・創出 | 120 |
| | 4 補償制度の確立 | 122 |
| | 5 財源の確保 | 124 |
| | 6 国・県等との連携 | 126 |
| | コラム8 市民アンケートの結果 ～推進体制の整備編～ | 128 |
| | 資料編 | 129 |
| | 1 計画策定の経過 | 130 |
| | 2 地域福祉計画策定のための市民アンケート | 133 |
| | 3 策定委員会 | 142 |
| | 1. メンバー構成 | 142 |
| | 2. 議論の経過 | 143 |
| | 3. 分科会の設置 | 143 |
| | 4 検討委員会 | 155 |
| | 1. メンバー構成 | 155 |
| | 2. 議論の経過 | 155 |
| | 5 用語集 | 156 |

